

第4回

◆登録有形文化財の  
舞殿にて能楽鑑賞いただけます

# ありとほし薪能

蟻通

敬老の日

## 9.18

開場 午後4時より

4:00~5:00 ※開演前の催しをお楽しみください

### 午後5時~7時30分

〒598-0034 大阪府泉佐野市長滝 814

## 見立て蟻通明神

# 「雨中夜詣美人」

うちゅうやもうでびじん

江戸時代の浮世絵師、鈴木春信が「雨中夜詣美人」という作品を残しています。

この作品には<見立て蟻通明神>という副題がついています。激しい風雨の中、春信が好んで描いた当時人気の水茶屋の看板娘 笠森お仙が宮詣りに向かいます。手には小田原提灯を捧げていることから夜であることを示しています。そう、これは「雨雲の立ち重なる夜半なれば ありとほし（蟻通し）とも思ふべきかは」と詠んだ紀貫之の故事に「見立てた」作品なのです。今でこそ浮世絵はホンモノなら途方もない値段がつくわけですが、当時としては錦絵は現在でいうところのポスターやブロマイド。庶民でも誰でも知っている題材でなければ、人気が出ません。売れません。ということは江戸に住む庶民が、遠く上方の紀貫之の故事や蟻通明神を知っていたということに他ならないのです。スゴイ！ことです。

ここで紀貫之が参詣してきたのが、和歌浦にある玉津島神社。ご祭神がなんと、衣通姫（そとおりひめ）命。実は、春信の「雨中夜詣美人」に描かれる「美人」は衣通姫に掛けてある、という説もあるのです。ということで「雨中夜詣美人」は、これ一枚で和歌の神様と神話の美女を表現しており、その二人とも泉佐野と縁が深い。これはもっともっと、たくさんの人に知っていただきたいところでもあります。

(文) 吉野 勝

ありとほし薪能実行委員会委員長

知れば知るほどわくわくします  
蟻通神社って  
スゴイ!



当日、この版画を  
ご覧いただけます  
(額装・復刻版)

## 第4回 ありとほし薪能 公演

日時：平成29年9月18日(月・祝) 午後4時開場~午後7時30分終了  
場所：蟻通神社 境内・舞殿  
客席：約350席  
番組：狂言「膏薬練(こうやくねり)」  
独狐「蟻通」  
能「紅葉狩(もみじがり)」

進呈 当日お着物でご来場の方には  
記念品をご用意いたしております。

※開演前の催し(午後4時~午後5時30分) 昨年も大好評でした!  
お茶席/境内案内/お祓い/巫女神楽/挨拶/薪火入れ/演目解説